

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020
バージョン: 1.0

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子
製品名

Electronic Spray 200 mL

他の識別手段

3110 (200 mL)

化学品の推奨用途と使用上の制限

推奨用途

潤滑剤

使用上の制限

上記以外のもの。

安全性データシート供給者の詳細

供給者の詳細

LIQUI MOLY GmbH

納入業者の住所

Jerg-Wieland-Str. 4

89081 Ulm-Lehr

ドイツ

電話

(+49) 0731-1420-0

F a x

(+49) 0731-1420-88

E メール(担当者)

info@liqui-moly.de

緊急電話番号

緊急連絡用電話の番号

+49 (0) 6132 / 84463

24 時間

セクション 2: 危険性物質の特定

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。 液体。 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り去ること。 多量の水で洗うこと。 刺激(発赤、発疹、水疱)があらわれた場合、医師の手当てを受けること。 繰り返しまたは長期間の接触により皮膚を脱脂し、皮膚の乾燥、皮膚割れ、皮膚炎を起こすことがある。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激があらわれたり続く場合、医師の手当てを受けること。

吸入した場合: 呼吸が困難な場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲みこんだ場合: 通常の使用条件のもとでは、危険は予期されていません。 加圧容器が製品を液体の流れ/粗いミストで分注する場合、当製品は口の中に溜まることがあります。 口をすすぐこと。 症状が現れたり、大量に摂取した場合は医師の診断を受けてください。 医療関係者の指示がない限りは嘔吐させないでください。

物質または混合物の分類

以下に準拠: JIS Z 7252: 2019

物理的な危険性

Aerosol Category 1 H222; H229

健康に対する有害性

該当なし。

環境に対する危険

該当なし。

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020
バージョン: 1.0

表示要素

危険性を表す絵表示



注意喚起語

輸險

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。

H229: 高压容器: 熱すると破裂のおそれ。

注意書き

安全対策

P210: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

P211: 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。

P251: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

保管

P410+P412: 日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。

他の危険有害性

繰り返しまたは長期間の接触により皮膚を脱脂し、皮膚の乾燥、皮膚割れ、皮膚炎を起こすことがある。

セクション 3: 組成/成分の情報

化学物質 - 該当なし。

混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2019

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	化審法 官報公示 番号 [^]	危険有害性分類
Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics	40 - 60	割り当てられていない	918-481-9	割り当てられていない。	Flam. Liq. 4; H227 Asp. Tox. 1; H304
Hydrocarbons, C3-4	<100	68476-40-4	270-681-9	割り当てられていない。	Press. Gas: H280 Flam. Gas 1; H220

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 1 6 を参照する。 [^]化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 (MITI 番号)
当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸が困難な場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡してください。

皮膚接触

皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り去ること。多量の水で洗うこと。刺激(発赤、発疹、水疱)があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激があらわれたり続く場合、医師の手当てを受けること。

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発行日: 2020年7月31日

バージョン: 1.0

摂取

通常の使用条件のもとでは、危険は予期されていません。加圧容器が製品を液体の流れ/粗いミストで分注する場合、当製品は口の中に溜まることがあります。

飲みこんだ場合: 口をすすぐこと。症状が現れたり、大量に摂取した場合は医師の診断を受けてください。医療関係者の指示がない限りは嘔吐させないでください。気分が悪いときは医師に連絡すること。

最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

繰り返したまたは長期間の接触により皮膚を脱脂し、皮膚の乾燥、皮膚割れ、皮膚炎を起こすことがある。

加圧容器が製品を液体の流れ/粗いミストで分注する場合

製品は口の中に溜まることがあります - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

症状によって処置する。

医師への注意:

暴露後 48 時間ぐらい経ってから症状が現われることがある。

飲みこんだ場合: 嘔吐させないでください。もし嘔吐する場合は、被災者を前屈みにさせて吸引のリスクを減らしてください。

吸入した場合: 可能であれば酸素吸入を施し、必要があれば人工呼吸を施す。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。水噴霧、泡、粉末または炭酸ガス。

不適切な消火剤

ウォーター-ジェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がることがあります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。知られていない。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。危険有害性分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素。

消火作業者の特別な保護具と予防措置

その地域から待避する。消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。化学防護服。容器は火災によって破裂することがあるので、もし安全なら、火災現場から移動させる。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。消火活動による流出物を下水溝や河川を流入させないでください。環境への放出を避けること。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

訓練を受け、適切に保護された作業員のみが、清窓業務を行わなければなりません。注意 - 流出物は滑りやすい時もある。身体に対するリスクを含めて、アクションを取るべきではない。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

加圧容器: 日光を避け、50 度を超える温度に曝さないようにしてください。使用後も、穴を開けたり燃やしたりしてはいけません。裸火や白熱した物質にスプレーしてはいけません。可燃性・引火性。スプレーを吸引してはいけません。換気の良い場所でのみ使用してください。全ての着火源を取り除くこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。使用の前に衣服を脱いで徹底的に洗濯すること。当該エリアを隔離し、蒸気が分散できるようにします。閉ざされた空間や下水等では蒸気がたまり、空気と混ざり合って爆発性混合物を生成する可能性があります。

環境的予防措置

環境への放出を避けること。

封じ込めと清掃のための方法および資材

そうするのが安全であれば、漏出元を隔離する。引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。蒸気は空気より重く、くぼみと閉鎖空間に気を付ける。機器が適切に接地されていることを確認してください。適切な換気を確保する。物質が蒸発できるようにします。残存液体を砂または不活性吸収材で吸い取り、安全な場所に取り除くこと。

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020

バージョン: 1.0

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

作業員は被暴を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。～から離すこと: 昇温、高い産業衛生水準を維持します。取扱い後は手を完全に洗うこと。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。直射日光を避けること。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。容器を接地すること/アースをとること。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

他の容器に移し替えないこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。子供の手の届かないところに置くこと。食品、飲料、動物の飼料から遠ざけること。

保管温度

日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。

混触危険物質

強酸化物類。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

確立されていない。

生物学的暴露指数

確立されていない。

適切な工学的管理

より高度なレベルの保護具が必要かどうか、作業工程と潜在的暴露の程度を考慮する。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。飲食及び喫煙前には手を洗うこと。作業場所の近くに洗眼設備と安全シャワーを確保すること。

個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

高い産業衛生水準を維持します。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。

保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

目/顔面の保護



側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。洗眼ボトルを準備しておかなければなりません。(以下と同等または類似: EN166)

皮膚の保護



手の保護: EN374 に準拠してテストされた適切な手袋を着用する。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に変換すること。(以下と同等または類似: EN374) 480 分以上の浸透時間に対応する、保護指数 6。
推奨: ニトリルゴム。(最小厚さ: 0.4mm)

体の保護: 適切な保護衣を着用する。化学防護服。

呼吸器の保護



推奨: 高性能フィルタ(EN143)の使用が推奨される。フィルタタイプ A1 (以下と同等または類似: EN143)

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

予想されていない。

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020
バージョン: 1.0

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的特性についての情報

外観	エーロゾル, 活性物質: 液体。
におい	特性。
臭いの閾値	確立されていない。
pH 値	確立されていない。
融点/凝固点 (°C)	確立されていない。
初留点と沸騰範囲 (°C)	確立されていない。
引火点(°C)	確立されていない。
蒸発速度	確立されていない。
燃焼性 (固体、ガス)	関連しない - 液体混合物
上限/下限可燃性または爆発限界	確立されていない。
蒸気圧(mm Hg)	確立されていない。
蒸気密度(空気=1)	確立されていない。
相対密度	確立されていない。
溶解度	水に不溶。
分配係数 (n-オクタノール/水)	確立されていない。
自己発火温度(°C)	確立されていない。
分解温度(°C)	確立されていない。
粘度(mPa.s)	確立されていない。

追加性質

爆発性	非爆発性。 . 高压容器 : 熱すると破裂のおそれ。
酸化性	非酸化性。
密度	0.71 g/cm3 @ 20°C
溶剤含有量	確立されていない。

セクション 10: 安定性及び反応性

反応性	普通の状態安定。
化学的安定性	普通の状態安定。 有害な重合は起こりません。
危険な反応の可能性	加熱すると圧力が高まり、破裂するので爆発の危険がある。
避けるべき条件	日光を防ぎ、50°C/122 oF を超える温度に暴露しないこと。 発火源から離して保管する。
混触危険物質	強酸化性物質に近づけないでください。
危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生する: 一酸化炭素, 二酸化炭素

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報	
急性毒性 - 口	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2000 mg/kg 体重/日
急性毒性 - 経皮	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。 急性毒性推定混合計算: LD50 >2000 mg/kg 体重/日
急性毒性 - 吸入	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。 急性毒性推定混合計算: LD50 >5 mg/l
皮膚腐食性/刺激性	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。
生殖細胞変異原性データ	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。 遺伝毒性の証拠はない。
発がん性	混合物。 : 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31 7月 2020

バージョン: 1.0

<p>生殖毒性</p> <p>特定標的臓器への毒性 (単回暴露)</p> <p>特定標的臓器への毒性 (反復暴露)</p> <p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>発がん性の証拠はない。</p> <p>混合物: 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。生殖毒性があるという証拠はありません。</p> <p>混合物: 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。</p> <p>混合物: 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。</p> <p>混合物: 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。</p> <p>該当なし: 製品形態</p> <p>液体: 製品は口の中に溜まる場合があります - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。</p>
<p>その他の情報</p>	<p>知られていない。</p>

セクション 12: 生態学的情報

<p>毒性</p> <p>残留性および分解性</p> <p>Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics</p> <p>Hydrocarbons, C3-4</p>	<p>混合物: 有効データに基づいており、分類基準を満たすものではありません。</p> <p>混合物全体としてのデ<^はありません。</p> <p>容易に生分解される。(OECD 301 F)</p> <p>容易に生分解される。ECHA 登録書類</p>
<p>生物蓄積性</p> <p>Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics</p> <p>Hydrocarbons, C3-4</p>	<p>混合物全体としてのデ<^はありません。</p> <p>この物質は生物濃縮の可能性が低い。ECHA 登録書類</p> <p>この物質は生物濃縮の可能性が低い。ECHA 登録書類</p>
<p>土壌中の移動度</p> <p>Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics</p> <p>Hydrocarbons, C3-4</p>	<p>混合物全体としてのデ<^はありません。</p> <p>製品は土壌中で移動性が低いと予想される。ECHA 登録書類</p> <p>この物質は生物濃縮の可能性が低い。ECHA 登録書類</p>
<p>オゾン層に対する有害な影響</p> <p>Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics</p> <p>Hydrocarbons, C3-4</p>	<p>この物質にオゾン層破壊の可能性はない。</p> <p>この物質にオゾン層破壊の可能性はない。</p>
<p>その他の有害な作用</p>	<p>知られていない。</p>

セクション 13: 廃棄上の注意

<p>廃棄物処理法</p> <p>追加情報</p>	<p>使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。環境への放出を避けること。家庭廃棄物、ごみその他固形廃棄物とともに廃棄しないこと。廃棄処分は関連法(地方政府、県、国家)に従わなければならない。</p>
---	---

セクション 14: 輸送上の注意

	ADR/RID	国際海上危険物	IATA/ICAO
国連番号	1950	1950	1950
UN 適切な船積み名	AEROSOLS, flammable	AEROSOLS, flammable	AEROSOLS, flammable
輸送危険分類	2.1	2.1	2.1
輸送危険分類	-	-	-
海洋汚染物質	海洋汚染物質として分類されていない。	海洋汚染物質として分類されていない。	海洋汚染物質として分類されていない。
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。		

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日: 31 7月 2020
バージョン: 1.0

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

労働安全衛生法 (ISHA)

通知対象物	該当なし。
表示対象物	該当なし。
有機溶剤。	該当なし。
作業環境負荷基準の管理濃度	該当なし。
危険物質	該当なし。
毒物及び劇物取締法	該当なし。
化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律	該当なし。
優先評価化学物質	該当なし。
既存化学物質	該当なし。
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)	該当なし。
消防法	第四類引火性液体 第二石油類 危険等級 III

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。 - V1.0

参考文献: 既存の安全データシート (SDS). 既存の ECHA 登録 Hydrocarbons, C10-C13, n-alkanes, isoalkanes, cyclics, <2% aromatics (EC 番号 918-481-9) Hydrocarbons, C3-4 (CAS 番号 68476-40-4)

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

物質または混合物の分類 以下に準拠 JIS Z 7252:2019	分類手順
Aerosol Category 1 H222; H229	専門家の判断と証拠の重み。

注釈

ADR/RID	ADR: 陸路による危険物の国際運送に関する欧州協定 / RID: 危険物の国際鉄道輸送に関する規制
CAS	CAS: 化学情報検索サービス
EC	EC: 欧州共同体
IATA	IATA: 国際航空運送協会
ICAO/IATA	ICAO: 国際民間航空機関 / IATA: 国際航空運送協会
国際海上危険物	IMDG: 国際海上危険物
LTEL	長期暴露限界
無影響濃度	無影響濃度
OECD	経済協力開発機構
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
STEL	短時間暴露限界
UN	国連
UVCB	未知または可変組成、複雑な反応生成物または生物学的材料
LD50	当該動物の 50% が死亡する致死量
LC50	当該動物の 50% が死亡する致死濃度
ECHA	欧州化学物質庁

危険有害性分類 / 分類コード:

Aerosol Category 1

Flam. Gas. 1; 可燃性又は引火性の高いガス, 区分 1

Flam. Liq. 4; 引火性液体, 区分 4

Press. Gas; 加圧ガス

Asp. Tox. 1; 吸引性呼吸器有害性, 区分 1

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。

H229: 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

H220: 極めて可燃性又は引火性の高いガス。

H227: 可燃性液体。

H280: 高圧ガス: 熱すると爆発のおそれ。

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

Electronic Spray 200 mL

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31 7月 2020

バージョン: 1.0

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

この出版物に含まれている情報または使用者様に提供される情報は正確であると考えられ、誠意を持ってご提供する一方で、使用者様は、各自の特定の目的に対して、製品の適合性に関する判断を自らの責任の下で行うものとしたします。LIQUI MOLY GmbH は、特定の目的に対する製品の適合性について一切保証いたしません。また、黙示的な保証または条件（法定またはその他）は、法律で除外が禁止されている場合を除き、除外されます。LIQUI MOLY GmbH は、本情報への依存に起因する損失または損害について責任を負いません（欠陥のある製品によって引き起こされた死亡、または人身傷害に起因するもので、それが証明された場合は除きます）。特許、著作権、意匠に基づく自由は想定できません。